

## 川崎大空襲から 80 年、本庁舎ライトアップを実施

### ～川崎市平和館では「川崎大空襲記録展」を開催中～

川崎市は戦争中に約 20 回の空襲を受けました。昭和 20 (1945) 年 4 月 15 日の空襲はもっとも、その被害が大きかったことから「川崎大空襲」と呼ばれています。

川崎市では、川崎大空襲から 80 年目の 4 月 15 日に合わせて、市役所本庁舎を SDGs の目標 16「平和と公正をすべての人に」を表すシンボルカラーであるブルーにライトアップします。また、川崎市平和館では、5 月 6 日まで川崎大空襲記録展を開催しています。

#### 1 本庁舎ライトアップ

- (1) 日 時 令和 7 年 4 月 15 日 (火) 日没～22 時
- (2) 場 所 川崎市役所本庁舎 (川崎市川崎区宮本町 1 番地)
- (3) 内 容 本年は川崎大空襲から 80 年を迎える節目です。  
川崎大空襲について知ってもらい、平和社会の実現に向けて、戦争体験を風化させず、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に広く継承する取組の一つとして、川崎市役所本庁舎をブルーにライトアップします。



「ブルー」ライトアップイメージ

#### 2 「川崎大空襲記録展」開催中

川崎市平和館では、令和 7 年 5 月 6 日 (火) まで「戦後 80 年 川崎大空襲記録展～戦時下の市民生活と川崎大空襲～」を開催しています。

- (1) 期 間 令和 7 年 5 月 6 日 (火) まで 9 時～17 時  
(月曜日・4 月 16 日 (水) は休館。ただし 5 月 5 日 (月) は開館)
- (2) 場 所 川崎市平和館 屋内広場 (川崎市中原区木月住吉町 33-1)  
※入場無料

#### 3 川崎大空襲とは

昭和 20 年 (1945) 4 月 15 日夜半、B-29 爆撃機 194 機が来襲し、焼夷 (しょうい) 弾 12,748 発 (1,072 トン)、高性能爆弾 72 発 (18 トン)、破砕性爆弾 98 発 (20 トン) を投下しました。火災は翌 16 日午前 5 時頃まで続き、川崎市の中心部は市役所などを残して焼野原となりました。被害は全半焼壊家屋 33,361 戸、同工場等 287、罹災者は 10 万人を超えました。川崎市が空襲で出した死者約 1,000 人、負傷者約 15,000 人の大半は、この空襲によるものとみられます。